

令和 7 年 度

群馬県公立高等学校

入学者選抜学力検査問題

国 語

— 注 意 事 項 —

- 1 検査開始の指示があるまで，問題用紙を開かないこと。
- 2 解答は，解答用紙の決められた枠の中に，はっきりと記入すること。
- 3 検査終了の指示があったら，直ちに筆記用具を置き，問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置くこと。
- 4 問題は，1 ページから11ページまであります。

―― 赤井さんたちは、「文章1」と「文章2」を読んで、将来の自分の姿について、考えを深めようとしています。これらの文章を読んで、後の(一)～(五)の問いに答えなさい。

〔文章1〕

著作権の関係により本文は省略します。

著作権の関係により本文は省略します。

(松尾太加志『間違い学 「ゼロリスク」と「レジリエンス」による。)

(注) エラー……失敗。あやまり。失策。

著作権の関係により本文は省略します。

（畑村洋太郎『やらかした時にどうするか』による。）

（注）忌み嫌う……嫌って避ける。ひどくいやがる。

誹謗中傷……悪口や根拠のない嘘等と言って、他人を傷つける行為。

袋叩き……多くの人が非難・攻撃すること。

著作権の関係により本文は省略します。

（問題は次のページに続きます。）

(一) A、B に当てはまる語として最も適切なものを、それぞれ次のア～エから選びなさい。

- ア また イ つまり ウ しかし エ さらに

(二) 赤井さんたちは、「文章1」で述べられている「Safety-I」、「Safety-II」という考え方について、次の「表」に整理しました。「表」中 ①、② に当てはまる語句を、「文章1」の中から、それぞれ十二字で抜き出して書きなさい。

「表」

Safety-II	Safety-I	
② こと。	エラーがないこと。	安全とはどのようなことか。
エラーが生じる前に検討する。	エラーが生じてから検討する。	いつ安全の対策を検討するか。
問題にうまく対処しようとする存在。	① 存在。	人間をどのような存在としてとらえているか。

(三) 赤井さんたちは、「文章2」について、内容を次のようにまとめました。「まとめ」中 にはどのような言葉が入るか、「文章2」の内容を踏まえて書きなさい。

「まとめ」

自分の頭で考えて、新しいものを作り出すためには、効率的な方法で表面的な知識を得るのではなく、ことが重要である。

(四) 赤井さんたちは、「文章1」と「文章2」で述べられている失敗（エラー）に着目しながら、文章の内容や特徴について意見を述べました。次のア～オのうち、それぞれの文章の内容や特徴について適切に読み取っているものを、全て選びなさい。

ア 赤井さん 「文章1」では、対比の構造を用いて、安全のとらえ方が違う二つの考え方について述べているよね。失敗は起こるものだという考え方が示されているよ。

イ 白石さん 「文章2」では、例えや引用をたくさん使いながら、失敗を経験したことがある人間は、失敗しないように見本や手本を大切にすると述べられているね。

ウ 桃田さん 「文章1」では、失敗を避けるための手順について説明しているのに対して、「文章2」では、失敗をした後の対応の手順を示しているという相違点があるよね。

エ 青木さん 「文章1」と「文章2」は、両方とも科学的に裏付けられた事実のみを用いながら、失敗しないように事前に様々な準備をしておくことが重要だと述べているね。

オ 黒沢さん 「文章1」では、安全のとらえ方を説明する中で失敗について考察しているけれど、「文章2」では、学びのあり方との関係で失敗について考察している違いがあるね。

(五) 「文章1」と「文章2」を読んで、あなたはどのような考えを持ちましたか。「文章1」と「文章2」の内容を踏まえた上で、将来の自分の姿と関わらせながら、百五十文字以上、百八十文字以内で書きなさい。（句読点等も一字として数えること。）ただし、一マス目から書き始め、段落は設けないこと。

二 次の文章を読んで、後の(一)～(四)の問いに答えなさい。

著作権の関係により本文は省略します。

著作権の関係により本文は省略します。

著作権の関係により本文は省略します。

(二) 文中A——「ちよつと変わった人」とありますが、このような評価とは対照的な、「染谷さん」についてのライブスタッフの評価を、文中から抜き出して書きなさい。

(三) 文中B——「みんな幸せそうな表情で音に合わせて頷いている」とありますが、「みんな幸せそうな表情で音に合わせて頷いている」のはどうしてだと考えられますか。最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。

ア 演奏や歌が素晴らしいことに加え、飾り気のない音を直接感じられるようなライブだったから。

イ 大人の音楽を満喫しただけでなく、「染谷さん」のメッセージを他者と共有できるライブだったから。

ウ 「染谷さん」が魅力的である上に、最も聴きたかった演奏形態で聴くことができるライブだったから。

エ 激しいパフォーマンスのみならず、時折演奏される素朴な音も心から楽しめるようなライブだったから。

(四) 文中C——「幸せそうに言った彼を見た瞬間、僕はふと理解できた気がした」とありますが、「僕」が「理解できた」のはどのようなことですか、本文全体を踏まえて書きなさい。

(注) イベント……コンサートを運営する団体や企業、人のこと。
(河邊徹『ヒカリノオト』による。)

北川さん……「僕」の上司。「染谷さん」のチーフマネージャー。

(一) 文中□に当てはまる四字熟語として最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。

ア 一朝一夕 イ 一長一短

ウ 二者択一 エ 唯一無二

三 松田さんたちは、次の「文章」を読んで、「文章」中――「さまざまに

もてなし、かしづきて、歌なむと学問しける」の理由について話し合い
ました。「文章」と「会話文」を読んで、後の(一)～(五)の問いに答えなさい。

〔文章〕

著作権の関係により本文は省略します。

(注) 禅師……法師・僧侶のこと。

坂東……東国。現在の関東地方のこと。

前栽……庭前の植え込みのこと。

冠者原……ここでは、若い家臣たちのこと。

不祥……不運・不幸のこと。

殿……ここでは「主」のこと。

吉野川……桜の名所。

〔会話文〕

松田さん この話の最後で、隆尊はなぜ丁重に扱われたのだろう。

竹野さん I の報告を受けて、II は「縄なつけそ。」と言って

いるから、I が報告した内容、つまり、隆尊の歌が
関係しているようだね。

梅山さん 隆尊の歌を調べてみたら、歌の中の「白波」には、盗人と

いう意味もあったよ。

松田さん 隆尊の III という行為が、「白波」という表現につな
がったのかな。

竹野さん だから、下の句では、「花ゆゑ沈む身」とも言っているね。

梅山さん でも、それを「恨みじ」と言っていることは、隆尊は
自分の行いを後悔していないみたいだね。

松田さん それなら、上の句の意味は、IV となるのかな。

梅山さん そうだね。自分の置かれた状況とその時の思いを、掛詞
などの技法を使って歌によりみ込んでいるんだね。

竹野さん こう考えてみると、「さまざまにもてなし、かしづきて、
歌なむと学問しける」の理由は、V だといえ
そうだね。

松田さん 他にも、隆尊のような人の話がないか調べてみたいね。

(一) 「文章」中——「いへば」を現代仮名遣いで書きなさい。

(二) 「会話文」中 I、II に当てはまる人物の組み合わせとして

最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。

ア I 使 II 主

イ I 使 II 冠者原

ウ I 家隆 II 主

エ I 家隆 II 冠者原

(三) 「会話文」中 III に当てはまる隆尊の行為は何か、書きなさい。

(四) 「会話文」中 IV に当てはまる内容として最も適切なものを、

次のア～エから選びなさい。

ア 盗人の評判が立つてもよしとしよう

イ 盗人呼ばわりするのはよしとしない

ウ 名声につながるならばよしとしよう

エ うわき話で処罰するのはよしとしない

(五) 「会話文」中 V に当てはまる内容として最も適切なものを、

次のア～エから選びなさい。

ア 歌に関する隆尊の知識が誤っていたから

イ 歌によりこまれた隆尊の行動が非難されたから

ウ 歌についての隆尊の才能がとて評価されたから

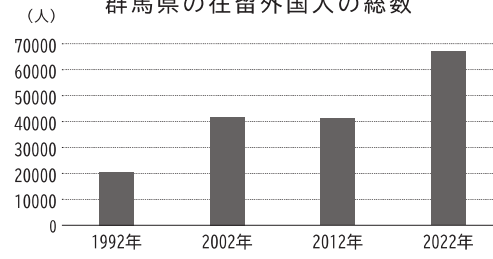
エ 歌よりも出世を重視する隆尊の姿勢が認められたから

四 春山さんは、国語の授業で「多文化共生社会の実現に向け、今求められて

いること」について、プレゼンテーションを行いました。春山さんが作成した次の「資料Ⅰ」～「資料Ⅳ」と、「春山さんが行った説明」を読んで、後の(一)～(四)の問いに答えなさい。

〔資料Ⅰ〕

群馬県の在留外国人の総数



※ 在留外国人とは、「留学生」、「定住者」、「永住者」など、日本で生活している外国人を指します。

「在留外国人統計(旧登録外国人統計)統計表」(出入国管理庁)により作成

〔資料Ⅱ〕



〔資料Ⅲ〕

私たちができる配慮

- 1 一文に複数の主語や述語は使わない。
- 2 尊敬語、謙譲語を使わない。
- 3 二重否定やあいまいな表現を使わない。
- 4 慣用語、専門用語などを使わない。

〔資料Ⅳ〕

体温をお測りしますので、
椅子にお座りになってください。

「春山さんが行った説明」

まず、「資料Ⅰ」を見てください。このグラフを見ると、群馬県における在留外国人の人数が変化していることが分かります。私の両親や祖父母は、昔に比べ、町の看板や案内表示に複数の言語が書かれているものを目にする機会が増えたと言っていました。そのような看板が増えたのも、在留外国人の人数の変化が影響していると思います。

次に、「資料Ⅱ」を見てください。この図が「おむつ交換台がある」ことを示しているのは、直感的に分かると思います。このように、図で伝える配慮は日本に住む外国の方たちにも分かりやすく、多くの場所で目にします。ただ、図だけでは十分に伝わらない場合もありますよね。そんなときに、私たちにできる配慮には、どんなことがあると思いますか。

私は、「資料Ⅲ」のような提案をします。これは、群馬県の多文化共生・共創ポータルサイト「やさしい日本語講座」の教材を参考にしながら、私がまとめたものです。日本に住む外国の方たちに配慮した表現を用いることで、住みやすい社会になると思います。

皆さん、「資料Ⅳ」の「体温をお測りしますので、椅子にお座りになってください。」は、どのような表現に書き換えることができますか。「資料Ⅲ」を参考にして、日本に住む外国の方たちに配慮した表現に書き換えてみてください。

私たちが普段何気なく使っている表現を、様々な人に配慮した表現にするような取組は全国的に広がっています。多文化共生社会を実現するために、私たちも、自分たちにできる配慮から取り組んでいきましょう。

(一) 春山さんが「資料Ⅰ」を提示したねらいは、どのようなものだと考えられますか。最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。

ア 具体的な数値を示すことで、多様な人々との共生社会の実現が難しいことを理解してもらおうとするねらい。

イ 十年ごとの変化を示すことで、在留外国人の増加が群馬県のみの特徴であることを理解してもらおうとするねらい。

ウ 視覚的に分かりやすく訴えることで、群馬県の在留外国人の総数が増加傾向にあることを理解してもらおうとするねらい。

エ グラフ資料を提示することで、共生社会の実現に向けて今すぐに取り組む点がどこにあるのかを理解してもらおうとするねらい。

(二) 「資料Ⅱ」がプレゼンテーションにもたらす効果を説明したものとして最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。

ア 文字で詳しく説明することが最も重要であると訴えることができる。

イ 言葉を用いずに情報を分かりやすく伝えられる例を示すことができる。

ウ 日本語を翻訳する必要があることを聞き手に実感させることができる。

エ 全ての文字をイラストに置き換える必要性を明確に伝えることができる。

(三) 春山さんは「資料Ⅳ」中の□について、「資料Ⅲ」に示した配慮に基づいて、次のように書き換え、例として示しました。「春山さんが示した例」についての説明として適切なものを、後のア～エから全て選びなさい。

「春山さんが示した例」

体温を測ります。

椅子に座ってください。

ア 「二文に複数の主語や述語は使わない。」という配慮に基づいて、二文に分けて書き換えた。

イ 「尊敬語、謙譲語を使わない。」という配慮に基づいて、尊敬語と謙譲語を取り除いて書き換えた。

ウ 「二重否定やあいまいな表現を使わない。」という配慮に基づいて、否定文を肯定文に書き換えた。

エ 「慣用句、専門用語などを使わない。」という配慮に基づいて、慣用句を取り除いて書き換えた。

(四) 春山さんがこのプレゼンテーションにおいて工夫した点についての説明として適切なものを、次のア～エから全て選びなさい。

ア 他県との比較をしながら考えを述べることで、説得力を持たせている。

イ 聞き手が実際に考える場面を設けることで、理解を深めさせている。

ウ 一つの資料の中に対立する意見を入れることで、客観性を持たせている。

エ 話し手が問いかけながら説明することで、聞き手の興味をひいている。

五 次の(一)～(三)の問いに答えなさい。

(一) 次の①～④の——の平仮名の部分を漢字で書きなさい。

- ① 入念に作戦をねる。
- ② きぬ織物の着物を買う。
- ③ 世界初のかいきよを達成する。
- ④ 校庭のてつぼうで逆上がりをする。

(二) 次の①～④の——の漢字の読みを平仮名で書きなさい。

- ① 物事を恣意的に解釈する。
- ② 言論の自由が抑圧されていた。
- ③ 仕事に励んで業績を伸ばした。
- ④ 忘れ物がないよう注意を促す。

(三) 書写の時間に「歳月不待人」という漢詩の一節を、次のように行書で書いた。後の①、②の問いに答えなさい。

歳月不待人

① 行書で書かれた「歳月不待人」について説明したものとして最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。

ア ここに書かれた「人」のように、行書は楷書と異なる筆順になる場合がある。

イ ここに書かれた「不」には、行書の特徴の一つである点画の形の変化が見られる。

ウ 行書では、点画が省略されることがあり、ここに書かれた全ての文字で点画が省略されている。

エ ここに書かれた文字のように、一つ一つの点画を連続させて書く行書は、全体に直線的で角張っている特徴がある。

② 「歳月不待人」に、「歳月不_レ待_人」と返り点を付けて書き下し文にしたものとして最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。

- ア 人歳月を待たず
- イ 歳月人を待たず
- ウ 人歳月を待つにあらす
- エ 歳月を待つ人にあらす